

編集後記

今回も多数の玉稿を御寄せ戴き先ず以って著者の皆さんに厚く御礼申し上げます。

本誌は昭和26年創刊以来57年目を迎え、今日の隆盛をみるにあたり誠に御同慶の至りです。読者の皆さんにもあらためて御礼申し上げます。

さて、本号生涯教育講座2篇は非常に専門的とは云え、実地医家にとっては折にふれて必要な知識であります。

総説は近年禁煙運動のたかまりの中、特に若者や学校での禁煙教育の在り方に一石を投じたと云えましょう。タバコの害のみならず早期に依存症を意識させる必要を力説しています。

臨床研究の論文も多岐にわたり実地診療上ありふれた疾患について述べられて居り大変参考になるとと思われます。

特に高齢者腰痛診療での骨粗鬆症と腹部大動脈瘤との関係、PZA値グレー・ゾーンの意義及びPZA値と前立腺癌の進行度、高リスク早期肺癌の縮小手術の意義、全国初のユニークな子宮癌行政検診及びその今後の発展、小児の感染性胃腸炎の病原タイプの臨床的鑑別、外来化学療法中の肺癌患者の体重減少に影響を及ぼす因子の検討では有効な化学療法の選択施行が重要との事など分り易く是非御熟読の程をお願いしたい。

(N. K)

島根医学編集委員

沖田瑛一、西野泰生、錦織 優、伊藤是衛、葛尾信弘、

岩本正敬、児玉和夫、益田順一、信太秀夫、佐藤比登美、

中川正久、小林祥泰、徳島 武

島根医学

平成20年9月30日発行

発行者 島根県医師会

浜田市蛭子町

編集者 沖田瑛一

発行所 松江市学園南2丁目3番11号
有限会社 松陽印刷所